

北条氏滅亡のカウントダウン ～「猪俣邦憲」の文書～

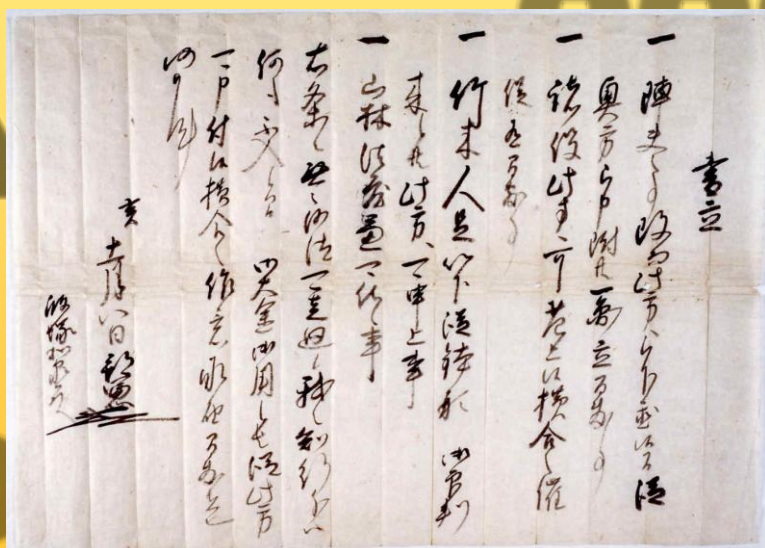
展示期間 令和8年11月1日（日）～12月26日（土）

天正18年（1590）7月、関東地方に君臨した戦国大名小田原北条氏は、豊臣秀吉率いる大軍の攻勢を受け降伏し滅亡しました。小田原征伐と呼ばれる秀吉の軍事行動は、北条家家臣の猪俣邦憲（いのまたくにのり）が、みなかみ町にあった名胡桃城を奪取した事件に端を発します。

今回の展示史料は、当館収蔵の飯塚馨家文書（P8214）の中から、猪俣邦憲の文書を紹介します。



群馬県指定史跡 名胡桃城跡
(職員撮影)



P8214 飯塚馨家文書 No.12292
亥(天正15)年11月8日「猪俣邦憲判物」